

# ご成人おめでとう

## 竜丘地区成人式 盛大に開催



雲ひとつない好天に恵まれた一月十二日竜丘公民館で竜丘地区成人式が開催されました。竜丘在住、または竜丘出身の新成人、九八人のうち五八人の皆さん、保護者の方、来賓の皆さんら総勢百人余が出席し、盛大に、また、和やかに成人の門出を祝いました。



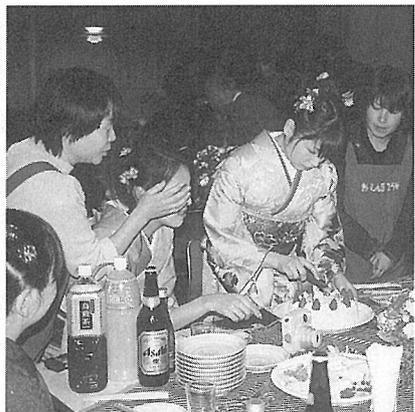
発行所  
飯田市竜丘公民館  
編集人  
竜丘公民館広報委員会  
印刷所  
龍共印刷株式会社  
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口	6,810人
男子	3,357人
女子	3,453人
世帯数	2,126戸
(15年1月末現在)	

昨年度、飯田市全体での成人式が廃止され、地区分散方式になりましたが、今年度も昨年同様、竜丘地区での開催となりました。会場の公民館大ホールは、色とりどりの晴れ着の女性やスーツの男性で華やいだ雰囲気になっていました。午後二時に第一部の記念式典が開会し、木下公民館長の主催者あいさつ、自治協議会長、市議会議員の皆さんからお祝いの言葉がありました。続いて駄科鈴岡太鼓の皆さんの祝いの太鼓二曲の演奏がありました。力強い太鼓の音に、新成人の皆さんは大きな拍手を送っていました。

式典の最後に、新成人を代表して駄科の熊谷由利子さんからあいさつがありました。うさぎと亀の話の引用して、「亀は、相手がうさぎだから勝った訳ではなく、一步一步着実に進んだから勝ったのです。私もそういう人間になりたいと思います」と、決意を語っていました。成人式にふさわしい立派なあいさつでした。

第二部では、新成人の実行委員の皆さんを中心に企画した記念行事が行われました。最初は「二十年間の思い出のアルバム」と題し、主に小学生時代の写真がスライドで上映されました。当時流行した曲をバックに



映し出される一枚一枚が、懐かしい顔や思い出の場面で、場内は大きな歓声に包まれました。

次に「ビデオレター紹介」と題して緑ヶ丘中学校時代の先生方のメッセージが上映されました。

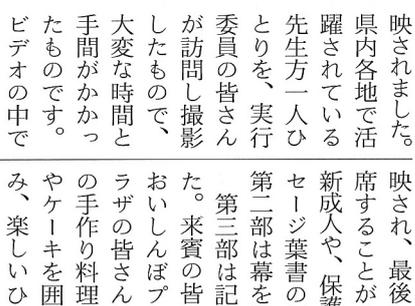
成人を迎え、さて目標は...。その時、ノーベール賞の小柴教授が杉並区の成人式で、「試して、経験してみても、あつ、こ...」と語りたいことなん...と語る姿がテレビに。

私は「試して経験して」という言葉がでたのを機会に、自分がでたのを振り返ってみました。

一つは、鈴岡太鼓での経験。思いもよらず、バチを持った日から、楽しさ勇ましさを実感。特に松本城での揃い打ち参加は、感動が私のやりの姿がテレビに。

私は「試して経験して」という言葉がでたのを機会に、自分がでたのを振り返ってみました。

一つは、鈴岡太鼓での経験。思いもよらず、バチを持った日から、楽しさ勇ましさを実感。特に松本城での揃い打ち参加は、感動が私のやりの姿がテレビに。



映されました。県内各地で活躍されている先生方一人ひとりを、実行委員の皆さんが訪問し撮影したもので、大変な時間と手間がかかったものです。ビデオの中で多くの先生が、「前向きで、責任ある行動のとれる大人になってください」と話されていました。

続いて、二十年の地域の歩みを公民館報から編集した「ふるさとの変貌」が上映されました。

歓迎後、駐車場で長野原煙火会の皆さんによる記念花火の打ち上げがありました。



映され、最後に、式典に出席することが出来なかった新成人や、保護者からのメッセージの紹介がありました。第二部は幕を閉じました。第三部は記念祝賀会でした。来賓の皆さんも加わり、おいしんぼプラーザの皆さんの手作り料理やケーキを囲み、楽しいひとときを過ごしました。

歓迎後、駐車場で長野原煙火会の皆さんによる記念花火の打ち上げがありました。

私は、経験は何かに生かせるものと信じ、具体的な目標とは言えないが、自分なりの力と機会を見つけて、体験する中から何かを教わっていく。そして失敗を恐れず前向きにいこうと。こんな考えから、地域を知るなど大人の社会へ一歩近づいて行きたいと思っています。最後に成人を祝って下さった皆さん、本当にありがとうございます。

### 試して経験して

駄科 尾野 寛明



私は、一月十二日に成人式を迎え、「大人」の仲間入りをしました。二歳になるという事は、未成年の時にはなかった大人としての責任が伴います。

子どもの頃から理想の大人とは、自分のことは全部自分でやり、周囲の人への気配りができる人と思ってきました。が今の私はと言え...。私は今、学生です。東

私は、一月十二日に成人式を迎え、「大人」の仲間入りをしました。二歳になるという事は、未成年の時にはなかった大人としての責任が伴います。

子どもの頃から理想の大人とは、自分のことは全部自分でやり、周囲の人への気配りができる人と思ってきました。が今の私はと言え...。私は今、学生です。東

### 感謝を込めて

駄科 下平 じゅん



私は、一月十二日に成人式を迎え、「大人」の仲間入りをしました。二歳になるという事は、未成年の時にはなかった大人としての責任が伴います。

子どもの頃から理想の大人とは、自分のことは全部自分でやり、周囲の人への気配りができる人と思ってきました。が今の私はと言え...。私は今、学生です。東

私は、一月十二日に成人式を迎え、「大人」の仲間入りをしました。二歳になるという事は、未成年の時にはなかった大人としての責任が伴います。

子どもの頃から理想の大人とは、自分のことは全部自分でやり、周囲の人への気配りができる人と思ってきました。が今の私はと言え...。私は今、学生です。東

### 癒し

ここ何年前から、よく耳にする言葉がある。「癒し」である。「癒し」を辞書で引いてみると、「病氣・苦痛をなおす」とある。

テレビやラジオ、雑誌などからとると、本来の意味とは少し違って見えるようだが、その言葉を借りると、「ストレスが柔らかく、気持ち安らぐ」と。ストレスもいれれば心の病かも知れません。

例えば、「〇〇歌手の〇〇曲を聞く」、「〇〇作家の〇〇本を読む」...など。見方を変えれば自分の趣味、スポーツをするのもそれに値するのかも知れない。

要するに「癒されたい」と思う気持ちは、人によって違うが、今自分のいる立場や状況の中にストレス、不満などがあるからではないだろうか？

以前テレビでは「癒し系の曲、グッズがよく売れている。それは、中・高校生から年輩の人までに幅広く流行している。心をうつ、ホッとさせるからなのではないか」と、言っていた。

今私たちの生活環境が厳しいのか、こういうものがブームになるのかも知れません。生活を変えたり、置かれている状況を変えたりすることは、そう容易なことではありません。趣味やスポーツといった時間が取れないならまた、心や体が気持ちよく少しでも柔らかくなるなら、こういうブームに乗ればいい。

あなたの「癒し」はどこにありますか？ こういうブームの中ですか？ それとも「家族の中」という人も。「いや、自分には「癒し」は必要ない」という人もいるかも知れませんね。

### 新春を飾る

# 心に響くハーモニ

## 第八回ニューイヤーコンサート

去る一月二十五日に、第八回ニューイヤーコンサートが、竜丘公民館において開催されました。

コーラス・各種合奏など熱のこもったコンサートとなりました。

当日は晴天にも恵まれ、百五十名の観客の中で、十四グループの発表が盛大に行われました。オープニングは、竜丘コーラスによる混声合唱で始まり、混声合唱というところで歌声の幅が広く、年々深みを増していく物でした。「コスモスフレンド」と「Gストリングス奏曲」は、大正琴の発表でした。同じ大正琴でも選曲によって全然異なる音色になり、聞き



初参加の竜丘唄う民謡クラブ

手を楽しませてくれました。藤岡クラブ、ゆうがおでは、自分たちで作詞作曲をしたオリジナル曲の発表となりました。詩の内容が、心にしみるものでした。駄科ハーモニカクラブ、大人の学校ハーモニカクラブの発表では、バックミュージックを付けた演奏と、ハーモニカのみ演奏のちがいで、ハーモニカの音色も何故かちがうように感じられました。

トウの演奏が行われました。このヤットウは、日本の箏と同じ十二弾で構成された楽器で、日本の箏の原形とされるものだそうです。しかし、演奏の際の弾き方が異なり、音色もちがうものでした。このように、世界の楽器の演奏に触れ合えたことは、このコンサートのも意義の一つでもありました。

今回は、二グループの初参加がありました。飯田子供劇場コカリナサークルでは、コカリナを多くの人に知ってもらいたい、コカリナの演奏が行われました。子どもたちが都合で参加できなくなり、大人ばかりになってしまいました。緊張の中良い発表ができました。

「故郷」「四季の歌」を歌い、最後の参加者全員で、加しました。練習はしっかり行ってきたので、緊張はしなかった。来年は人数を増やして大曲に挑戦したい」と、感想を話していました。



「故郷」「四季の歌」を合唱

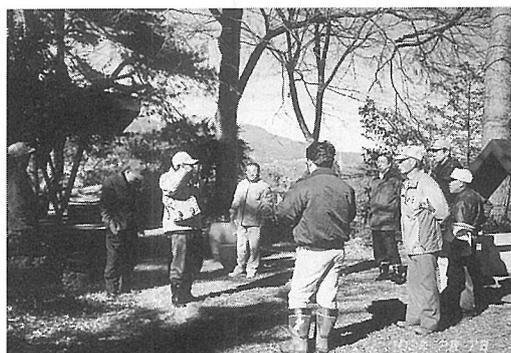
### 分館紹介

駄科公民館では、去る十二月十七日に「鈴岡城址と鈴岡公園を知る勉強会」を開きました。今年度は二月九日に、「若々しい脳を保つために」と題し、竜丘担当の小林洋子氏をお招きし、今年度は二月九日に、

### 充実する活動が盛り沢山

#### 公民館駄科分館

子保健師さんから、「上割りやビンゴゲーム、数字の入ったうちわを用いたの入ったうちわを用いたの入ったうちわを用いたの」など、大変な活動成果を発表する場として、



鈴岡城址公園の現地視察

## 小林健司さん

### 農林水産大臣賞受賞

第四十一回農林水産祭参加の長野県野菜品質向上共進会「平成十三年度長野県アスパラガス立毛品評会」において、小林健司さん（長野原）が農林水産大臣賞を受賞されました。

この立毛品評会は、長野県やJA長野中央会などが主催するもので、審査の項目は、アスパラガスの品質や収穫量のほか、栽培規模など経営状況、また、株揃いなど生産状況、圃場の管理技術などであり、実地審査を経て、栽培管理全般が優秀と認められました。



小林健司さん、平成八年よりアスパラガスの栽培を始めています。

## 飯田市はどうなるのか 市町村合併に関する説明会

一月三十日に、竜丘公民館において市町村合併に関する説明会が行われました。南信州広域連合の改革期における市町村の在り方研究会が、第二次の研究結果をだしました。説明会は、合併論議が盛んになっていく背景と、研究結果の説明、また、合併に関する市民



一月三十日に、竜丘公民館において市町村合併に関する説明会が行われました。

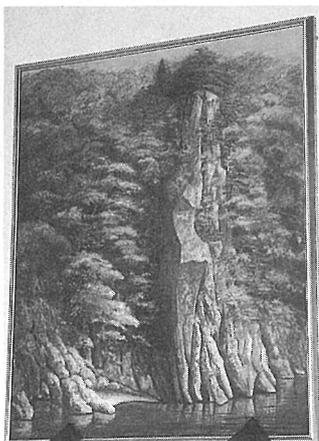
## 澤柳氏 風景画 寄贈

このほど公民館へ、駄科の澤柳辨治郎氏が風景画「龍角峰」F百号を、駄科の山下敦詞氏が風景画「残雪の丘」P五十号を寄贈されました。「龍角峰」は、

「飯田・下伊那がひとつになったら」との想定で、自治体運営の基本的な考え、地域自治政府構想、新たな行政体制の概念、職員配置、財政的な見直しなどの報告がありました。多くの質問意見が出



「残雪の丘」 山下敦詞氏



「龍角峰」 澤柳辨治郎氏